

九州国立博物館長

とみ た じゅん
富田 淳さん



令和2年度、九州国立博物館に着任した私は、太宰府市五条に居を構え1年を過ごしました。疫禍の対策に明け暮れるなか、^{きょうよ}業余の楽しみが、太宰府の各所を散策することでした。

もっとも頻りに歩いたのが、五条の寓居から戒壇院、観世音寺、大宰府政庁跡を経て、御笠川に沿って戻る経路です。時間に余裕のある時には、大宰府展示館に立ち寄り、気が向くと坂本八幡宮や榎社に足を延ばします。社寺の解説からは、大宰府が歴史上の要衝であったことに改めて認識を深め、桜並木に心なごませ、政庁跡のせせらぎでは数年ぶりに蛍狩りを鑑賞しました。

神幸式の大祭は規模を縮小していたそうですが、初めて目の当たりにする私は、^{ちび}厳かに練り歩く行列に、大きな感動を覚えました。

東アジアの玄関口として繰り広げられた壮大なドラマに思いを馳せ、「道真も仰ぎし月の^{しろ}皎さかな」など^{うき}嘯きながら、いつも帰途に着いたものです。今回も引き続き大宰府を満喫し、もう少し気の利いた駄句をひねり出したいと思います。

特集

食べつと通信

太宰府市で中学校完全給食がスタート
…………… 2～3

子ども食堂で地域とつながろう

…………… 8～9

新型コロナウイルスワクチンの接種
について …………… 10

市からのお知らせ …………… 11～13

連載 …………… 14～23

なんでも情報コーナー …… 24～31

太宰府の文化財 …………… 32

市政ニュース

市政 年末年始に仕事納め式・始め式を行いました

年末年始の節目として、12月28日(木)に仕事納め式および職員表彰、1月4日(木)に仕事始め式をそれぞれ行いました。

仕事納め式では、楠田市長から1年間の労いと交通事故や飲酒運転などの諸注意、そして市民本意という原点をもう一度見直して欲しいと具体例をあげて呼びかけがありました。仕事始め式では、年末年始の初詣客受入対応職務への労いや、新年早々スタートする中学校完全給食や令和改元5年の節目での令和の都だざいふの取組などに向けた話がありました。

あわせて、元日から起きた大地震、羽田空港での大事故、小倉での大火事などを取り上げ、お悔やみお見舞いを申し上げると共に、24時間365日の即応体制の重要性も共有しました。なお、市内公共施設に義援金の箱を設置していますので、協力をお願いします。



職員表彰の様子



新年のあいさつをする楠田市長

世界に羽ばたく人材育成

スポーツで全国大会に出場

全国高校弓道選抜大会出場

筑紫台高等学校の弓道部女子団体が、第42回全国高校弓道選抜大会に出場することを報告しました。県予選大会では1校のみが選出される技能優秀校にも選ばれました。選手代表の吉田姫樺さんは「目標は全国制覇。緊張を楽しみながら頑張りたい」と語り、楠田市長は「緊張できる舞台に立てること自体が素晴らしいことです。全国制覇を目指し頑張ってください」と激励しました。



筑紫台高等学校弓道部

全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場

筑陽学園高等学校の女子サッカー部が、第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会に出場することを報告しました。県大会で準優勝、九州大会で3位の成績を収め、2年ぶり3回目の全国大会出場です。主将の山下美優さんは「チームの目標の全国大会ベスト8を目指し、成長した姿で頑張りたい」と語り、楠田市長は「最後まであきらめず、持ちうる力を出し切って」と激励しました。



筑陽学園高等学校女子サッカー部

全国高校サッカー選手権大会出場

太宰府中学校の卒業生の原翔聖さん・天聖さんの双子の兄弟が所属する飯塚高校サッカー部が福岡大会で優勝し、第102回全国高校サッカー選手権大会に出場することを報告しました。2人は「県代表として戦い、強豪校を倒して全国優勝したい」と語り、楠田市長は「全国大会初戦の青森山田高校は強敵だと思いますが、そこを倒して勢いに乗って優勝に向かって頑張ってください」と激励しました。



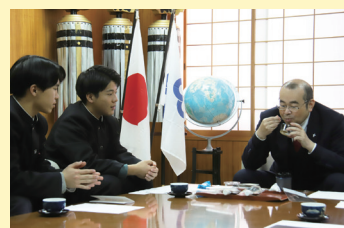
太宰府中出身の原さん(前列)

世界に羽ばたく人材育成

高校生が新たな麴商品の商品化に挑戦

本市と包括連携協定を締結している筑紫台高等学校の総合学科調理系列の生徒が、授業の一環で「生麴ソース」の商品化に挑戦し、完成品を楠田市長に試食してもらうために12月6日(水)、市役所を訪れました。

日本の伝統食でもある麴を利用し、栄養学の観点と学生たちの新たな発想で麴を見つめ直して開発しました。商品化のためにクラウドファンディングを行い、売上金は開発・製造費に充て、一部を地域の子ども食堂へ寄付します。



生麴ソースを試食する様子

世界に羽ばたく人材育成

中学生の「税についての作文」で表彰

中学生の「税についての作文」は、将来を担う中学生が税に関心を持ち、正しい理解を深める目的で国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が毎年実施しています。

市内中学校から応募のあった621作品の中から厳正な審査を行い、学院院中3年の吉浦春花さんを太宰府市長賞、太宰府西中3年の山下紗季さんを教育長賞に選定し、直接表彰状と副賞を授与し称賛しました。



表彰された山下さん(前列左)と吉浦さん(前列右)

新たな門出をお祝い

令和6年令和の都だざいふ二十歳のつどい開催



令和の都だざいふ二十歳のつどいを1月7日(日)にプラム・カルコア太宰府 (中央公民館) で開催し、市内の752人が人生の節目である20歳を迎えました。コロナ禍以来、中学校区で2部に分けて開催していましたが、本年は4年ぶりに出席者が一同に集いました。会場は旧友との再会を喜ぶ20歳を迎えた皆さんの笑顔であふれていました。皆さんの新しい人生の門出をお祝いし、今後の活躍を期待します。



二十歳のつどい出席者



会場前で再会を喜ぶ二十歳の皆さん



会場内の様子

企画・運営をした実行委員の皆さん

恩師からのビデオレターを見る出席者

まちのトピックス

年始のイベント レールキッチン正月特別コースが太宰府に

西鉄電車の人気観光列車THE RAIL KITCHEN CHIKUGOが、1月4日・5日の2日間限定で、正月特別コース(太宰府初詣コース)を運行し、久しぶりに西鉄太宰府駅に約80分間停車しました。両日とも満席の大盛況で、乗客は太宰府駅周辺での観光や初詣を楽しんでいました。待望の定期運行の復活に向けて市と西鉄電車の交渉が進んでいます。



停車する列車

市内学生の活躍 筑紫地区少年愛護連盟表彰

筑紫地区少年愛護連盟表彰式が開催され、本年度は本市から次の人が表彰されました。



表彰式の出席者

(敬称略)	
日常的な善行	鳴尾優希(太宰府東中2年)
拾得物届け	瀬崎陽斗(国分小2年)
高齢者の救助	沼田凌央、山崎強士郎(太宰府南小6年) 穴井三琴、小山湊人、平木翔大、梅垣結斗 吉野遥翔、木越亮誠(学業院中1年) 今井逸輝(太宰府特別支援高等部3年)
緊急時の救助活動	蔣田愛乃、姫野沙耶、伊佐玲音(太宰府西中1年) 山下夏生、木村凌(太宰府西中3年)
人命救助	檜垣太一、村田風翔(筑紫台高1年) 新宅郁哉(筑陽学園高3年)
児童の援助	志柿悦夫(筑陽学園高3年)

市民の活躍 高齢者福祉功労者に対する県知事表彰等受賞

高齢者の福祉増進のため、多年にわたり献身的活動を続けたことで、本市から7人が福岡県の表彰を受け、12月6日(水)に伝達式が行われました。

楠田市長から、これまでの活動への感謝と、受賞のお祝いの言葉が贈られました。



表彰された皆さん(前列)

(敬称略)		
区分	氏名	所属
老人クラブ会長	清見寛喜	三朋会(三条台区)
	大田嘉昭	大佐野延寿会(大佐野区)
高齢者相互支援活動員	脇山誠治	五条台千歳会(五条台区)
	吉松憲弘	
	池田美佐子	香寿会(梅香苑区)
	柴田ツキエ	大佐野延寿会(大佐野区)
	富士勝昭	青葉会(青葉台区)

全世代居場所と出番

第6回太宰府障がい者ボッチャ交流会開催

NPO法人太宰府障害者団体協議会などによるボッチャ交流会がとびうめアリーナで12月2日(土)に開催されました。障がいのある人もない人も、約60人がプレーし、運営スタッフや応援の人などを合わせた約130人が交流を深めました。

ボッチャは年齢や性別、障がいの有無に関わらず楽しめるのが魅力のパラスポーツです。会場では白熱した試合が繰り広げられ、歓声や拍手が送られました。



ジャックボール(白球)をめがけて!